

TOKYO TOBIHINO ROTARY CLUB



会長 小島 明



幹事 朝倉邦雄

国際ロータリー第2750地区 多摩南グループ

東京飛火野ロータリークラブ

会長テーマ「原点に立ち戻り、奉仕の在り方を考えよう」



世界へのプレゼントになろう

RI会長 K.R.「ラビ」ラビンドラン

2015▶16 Weekly Report vol.28-35

2016年4月20日(火) 第1294回 日野RC五十周年記念式典 於:京王プラザホテル八王子

月20日(水)5年前の3月11日発生の東北大震災で、折しも予定されていた45周年式典が中止になったが、巡り合わせか50周年記念式典は熊本地震、南米エクアドル地震の直後に開かれた。八王子RCをスポンサークラブに、1966年産声を上げてから50年、チャーターメンバーの24名は現在在籍せずも、先達を含め会員が幾多の輝かしい奉仕活動の実績を積まれてきたクラブの式典とあって、来賓の層も厚く多方面からのお客様で賑わった。記念式典は、1部が日野RCが2013-14年に派遣した奨学生で兵庫県立こども病院の椎間優子先生の「小児医療の新しいアプローチ」ロータリー奨学生としてフィラデルフィアで

学んだこと、と題した記念講演。先生は日野RCがスポンサークラブとして米国に派遣したR財団グローバル補助金奨学生第1期生で、奨学期間を終了昨年帰国現職に。講演内容は小児科への取り組みと展望・夢をお聞きした。第2部は式典(2433回例会)でロータリーソング斉唱、物故会員黙祷、来賓紹介、会長挨拶、実行委員長挨拶、来賓祝辞、記念事業紹介・寄付金贈呈、感謝状贈呈。記念事業は高幡山彼岸花植歳プロジェクト(彼岸花10万本植歳)東京都七生福祉園入所児童支援事業、寄付(R財団・R米山記念奨学会)。第3部は祝賀会。

SINCE1966 新たな一歩 記念式典プログラム

■司 会 東京日野RC 幹事 西山尚之

■開会点鐘 東京日野RC 会長 横倉利夫

■ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー東京日野RC 清水博雅会員

■物故会員への黙祷

■来賓・来訪クラブ紹介 東京日野RC 会長 横倉利夫

■会長挨拶 会長 横倉利夫

開会に先立ち「熊本地震」の最中に式典を挙げる事に触れ、早急に支援に取り組む事と決意を述べられた。本日多数のご来賓、クラブ関係者を迎え式典が開催できました。設立時より皆様のご理解と支援を戴き、地域のニーズに応えた奉仕活動を展開してきました。周年事業では高幡山彼岸花植栽、七生福祉園支援、R米山奨学会・R財団寄付を行ないます。講演はスポンサークラブとして米国に派遣した奨学生椎間先生をお迎えしました。100年に向けて新たな道を切り開きます。ご指導ご支援をおねがいします。

■実行委員長挨拶 実行委員長 熊井治孝

4年前より実行委員会を立ち上げ準備し今日を迎えました。50周年事業では高幡山彼岸花植栽、七生福祉園看板寄贈、R米山奨学会・R財団へ寄附金を贈ります。祝賀会でお楽しみ下さい。

■来賓祝辞

●日野市長 大坪冬彦様

日野市も昨年市制50周年を迎えたが、日野RCも50周年と同じ歩みをしてきた。浅川クリーン作戦など奉仕活動で地元密着の活動をされています。ご協力ありがとうございます。

●高幡不動尊貫主 川澄裕勝様

創立時に事務局を担当された思い出、不動様関連の催事にご協力戴いてます。30周年事業の土方歳三像、この度の「曼珠沙華」の球根30000株の植栽で他団体と併せ合計10万株になり今後増え100万本になるのではないが、楽しみですとお礼を込めての祝辞。

●RI2750地区ガバナー水野 功様

入会の思い出、55周年は東京五輪です。プリティシユヒルズプログラム、講演会の最後に講師の椎間さんが「ロータリーは人と人を繋ぐ掛け橋」と結ばれたが大変感動した。と祝辞。

●東京八王子RC 会長 小坂 優様

スポンサークラブになった当時の歴史を、クラブの資料を見たエピソード等を交えた祝辞。

●函館五稜郭RC 会長 奥田武彦様

新選組隊士土方歳三が函館で亡くなった事がご縁で、日野クラブと友好を深めてきました。新幹線も通りぜひ函館にもおいで下さい。

■記念事業紹介(奉仕活動をスクリーンで紹介)

■閉会点鐘 東京日野RC 会長 横倉利夫



●祝賀会 東京日野RC司会 親睦委員長

司会の小峯例会向上委員長の挨拶に続き飯作会員の挨拶、井村多摩南Gガバナー補佐の“乾杯”音頭に全員で唱和して始った祝賀会は、これまで行なってきたいろの奉仕活動、特に式典でも紹介された高幡山への彼岸花の植栽は地域への貢献大で、写真で見られるように赤いジュータンを敷き詰めたような光景は、いずれ初夏の紫陽花と並ぶ名所になるのではないかと多くの出席者が注目して話題にのぼっていました。30周年事業で建てた境内の土方像は、NHK大河ドラマ「新選組」放映後もブームが続き、春の“ひの新選組まつり”では像の前で儀式が行なわれ、全国から集結する新選組ファンにとってこの像と不動尊の新選組に関わる資料は心の拠り所にもなっていると伺っています。この像と隊士コンテストの話題も宴の中で尽きなかった様です。プリティシユिल्ズ国内留学についても、1977年市内の苦学生の援助を目的に当時の会員が資金を出し合いクラブ独自の奨学金制度を立ち上げたことが出発です。市内の中学生に英

国様式の生活体験・語学研修をさせるこの事業も話題となっていました。遠方の函館五稜郭RCの会員も沢山お見えになり、顔馴染みの会員もおられたようで、数年前函館五稜郭RC周年事業に参加した飛火野RC・日野RCのメンバーも多く当時の様子を思い出し語らう姿も見られました。盛り上がる中、小倉会員の中締めで閉会、日野クラブの皆さんに見送られて会場を後にし、階下の2次会会場に。2次会は日野・飛火野・函館五稜郭RC3クラブで行なわれた。熊本地震、エクアドル地震、アメリカの大統領選等の話題で話が弾み定刻まで親睦を深めました。日野RCは本日を境に70~80・100年へと踏出されますが、会員増強も進み力強い足音が聞こえてきます。会員の皆様のご健勝とご活躍、クラブの繁栄を心より祈念申し上げます。

出席報告	総数	出席	MU前	MU後	欠席	出席率
第1294回	27	27	0	0	0	100%
第1292回	27	19	4	0	4	85.18%

ニコニコBOX	本日0円	累計995,344円
	本年度目標額1,200,000円	達成率82.95%